

カナダ研修の今後の継続とさらなる発展を祈念して

輪之内中学校 派遣団団長

平成10年8月、カナダ・アルバータ州・ヒントン町において、友好姉妹都市・姉妹校提携の調印式が行われて以降、「輪之内町カナダ派遣研修事業」は22回を数える息の長い取組となっています。

行ってみて感じたのですが、これだけ長く交流が続くと、ヒントン町の人たちの日本人、輪之内町の人に対するまなざしがあたたかい。中には、「私は、将来、日本で教師になりたい。」とか「輪之内町でALTがしたい。」と言ってくれる学生さんに出会いました。「何千キロも離れた、言葉も、文化も違う国なのに、ヒントン町の人たちにとって、日本の輪之内町が特別親しみのある町になっている。」と考えるとわくわくします。「輪之内町すごいな」と、輪之内町に勤める者として、誇らしく、嬉しいです。

さて、今年も、輪之内中2年生6名と引率教員3名、合計9名で、ホームステイを中心とした9日間の研修を無事に終えることができました。

本研修事業の目的は、次の3点です。

- 友好姉妹都市のヒントン町及び姉妹校のハリーコリンズ高校との交流を一層深めること。
- カナダの自然や歴史、異なる文化や生活に学び、見識を豊かにするとともに、ふるさと輪之内への誇りと愛着を育むこと。
- 英語による積極的なコミュニケーションを図り、思いや考え、あたたかい心遣いを交わし合う中で、互いの絆を深めること。

これらの目的を達成するため、研修生一人一人は、夏休みの事前研修から当日の活動に至るまで、ひたむきに取り組むことができました。

特に、研修生6名の積極的に挑戦しようとするひたむきで真っすぐな姿に感心しました。中学2年生ですから、英会話力は語彙力・文法力ともにまだまだ未熟です。しかし、知っている英単語を駆使しながら、表情・身振り・手振り、時には辞書を使って、ホストファミリーをはじめとするカナダの人々とのコミュニケーションを一生懸命に図りました。ホテルのフロントや入国に関する質問の場面でも、臆することなく話をする姿にたくましさ感じました。また、消防車の高い梯子に6名全員が希望して昇ったり、大自然を積極的に満喫したりする姿に、ホストファミリーの方々から好評をいただきました。

研修生6名にとって、カナダ・アルバータ州・ヒントン町は、特別親しみのある所となりました。研修生たちは、カナダでの出来事を一生忘れないことでしょう。そして、これからも様々な場面で積極的に挑戦を続け、輪之内町の宝として活躍してくれると確信しています。

最後になりますが、今回の交流に対し入念な準備やお心遣い、事前の英会話研修、出発式、帰国式における送迎等でたいへんお世話になりました輪之内町並びに輪之内町教育委員会の皆様方に、心より御礼申し上げます。